

齋藤陽道

Harumichi Saito

1983- 日本

写真家。都立石神井ろう学校卒業。
2009年、「タイヤ」が写真新世紀佳作賞、
翌年「同類」が優秀賞を受賞。2011年
には写真集『感動』を出版。マイノリティ
の人々のポートレイトを多く撮影している。
陽ノ道として障害者プロレス団体「ドッグ
レッグス」にも所属。

1983 - Japan

Photographer. He graduated from the Tokyo Metropolitan Shakuji School for the Deaf. His photography *Tires* achieved Honorable Mention in New Cosmos of Photography 2009, and *Dorui-Birds of a Feather* achieved Excellence Award in New Cosmos of Photography 2010. He published his first collection of photos *Kando-Emotion* in 2011. He has been photographing many portraits of minority people. He also belongs to the super handicapped pro-wrestling group "Doglegs" as Harunomichi.

齋藤陽道

「宝箱展」より

2013年

ラムダプリント



Harumichi Saito

From "Treasure / Harumichi Saito: Photography"

2013

Lambda print

〈宝箱—齋藤陽道 写真展 2013年11月30日～
2014年3月16日 より〉

「うたうべき世界を想うとき、そこにはいつもひとつの円いものがある。それは宇宙にぽっかり浮かぶ地球にもひとしい、うるうるとけんらんなシャボン玉。世界に生まれおちた瞬間からいつ消えるかわからない運命づけをされている。立ち位置によって表層の色はカラフルにうつろう。それは写真のかたち似ていて、ぼくたち生命のかたちでもある。 シャボン玉を吹き動かすのは、何十億年もの遠くから受けつがれるこだまをのせた風。まぶしいまぶしい遠いところにいる存在に向かって風は吹いている。

シャボン玉に導かれながら、今、ぼくは境界線
をふみつける。」

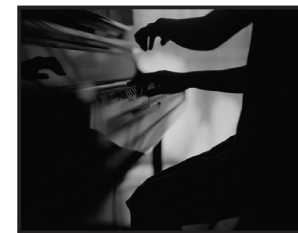
齋藤陽道

齋藤陽道

音楽団のシリーズより

2012-13年

ラムダプリント

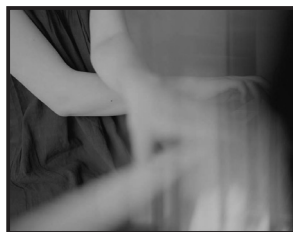


齋藤陽道

無音楽団のシリーズより

2012-13年

ラムダプリント



Harumichi Saito

From the Silent Orchestra series

2012-13

Lambda print

「息づく存在そのものがひとつの音であり、それ
はすぐそこにある。」

「音楽は永遠の片想い。さびしいけどずっと想っ
ていられる。」

齋藤陽道

齋藤陽道

音楽団のシリーズより

2012-13年

ラムダプリント



Harumichi Saito

From the Silent Orchestra series

2012-13

Lambda print

齋藤陽道

音楽団のシリーズより

2012-13年

ラムダプリント



Harumichi Saito

From the Silent Orchestra series

2012-13

Lambda print